

# インテリジェントアレー構想研究会報告書骨子 大学等の都心部集積による都市活性化を目指して - インテリジェントアレー構想の推進 -

(2001年6月14日)

## 第1章 調査・検討の経緯と背景

### 1. はじめに

「関西経済再生シナリオ」における「インテリジェントアレー構想」( = “知的インフラに支えられた面白い社会づくり”) の実現に向けて、教育・研究の中核機関としての大学(大学院を含む)に焦点を絞り、大阪市をモデルエリアに都心部への大学の集積方策について調査・検討

### 2. 調査・検討の背景

- (1) **関西経済再生のカギを握る都市の活性化** - 低迷している関西経済において重要な都市の役割
- (2) **都市の知的インフラとしての大学** - 都市の発展に貢献する米国の大学の事例とわが国の現状
  - 大学が都市の活性化や産業振興に大きな役割を果たすためには産官学の連携・協力が必要
  - 東京、京都、阪神間に比べて低い大阪の大学の分布密度

## 第2章 大学の都心部集積をめぐる状況

### 1. 大学立地施策の変遷

- (1) **80年代まで - 大学の大都市集中排除・地方分散施策の推進**
  - 工業(場)等制限法や文部省の高等教育計画等にみられる大学の大都市集中排除・地方分散施策
- (2) **90年代以降 - 社会人教育重視と工業(場)等制限法の緩和**
  - 国の90年代以降における社会人教育制度の充実(社会人向け大学院の整備等)
  - 工業(場)等制限法の緩和および京阪神3政令市における同法の緩和・撤廃の要望の動き

### 2. 大学の都心回帰・連携の動きと背景

#### (1) 大学の抱える問題

- 大学等のアンケート調査にみられる学校運営上の課題(受験者数の減少、施設・設備の老朽化等)とその対処策、新規立地に対する興味 立地候補地の一つとしてポテンシャルを有する大阪都心部

#### (2) 大阪都心部における社会人向け大学院等の設置動向と今後の課題

- (1) 進出の主な動機(社会人教育の重視、産学交流、社会への知的還元・情報発信、都市活性化の貢献)

- (2) 場所の選定等(利便性の良さ)
- (3) 講座内容(実務的・実践的内容の重視、遠隔講義システム等の活用)
- (4) 今後の課題(講義内容の充実の必要性、場所の確保と費用の問題)

### (3) 大学間、大学・行政間の連携の動き

- 京阪神における既成の枠を越えた大学間、大学・行政間の連携の主な取り組み

## 第3章 企業・社会人の大学についてのニーズ

### 1. 企業をめぐる状況

#### (1) 企業の抱える問題

- グローバルな大競争時代を迎え従来の日本型雇用慣行、人材育成システムが有効に機能せず
- 能力・成果重視や人材の流動化、即戦力となる人材確保等に対応した人事施策への転換の必要性

#### (2) 大学・大学院の教育サービスに関する企業ニーズ調査

- 企業ニーズを踏まえた実践的な講座の充実、大学に対する企業側の情報発信の必要性
- 大学・大学院の都心部進出による都市の活性化、企業との交流・連携促進への期待

### 2. 社会人をめぐる状況

#### (1) 雇用環境の変化と教育需要の増加

- 人材の流動化に伴うスキルアップの必要性や生涯教育への関心の高まりによる教育需要の増加

#### (2) 社会人の求める教育内容と大学の立地

- 資格取得、キャリアアップ等のための教育サービスへのニーズ、通学の利便性の重視

## 第4章 インテリジェントアレーの実現に向けて

### 1. これまでの検討のまとめ

都市	- 活性化のための知的インフラとして	} <b>都市における大学の整備はきわめて重要</b>
大学	- 社会人教育、産学交流、社会への知的還元の間として	
企業	- 人材育成、産学連携を進めていく上で	
社会人	- キャリアアップ、スキルアップや生涯学習の間として	

### 2. インテリジェントアレー構想とは

#### (1) 目的

- 大学の都心部集積により大学と企業・社会人の一層の交流促進を図るとともに、企業・社

#### (2) 場所 - 企業・社会活動の中心に近接し、都市と大学が立地上融合できる場所

(2) **場 所** - 企業・社会活動の中心に近接し、都市と大学が立地上融合できる場所

(3) **期待される効果**

- (1) グローバル化・情報化に対応した社会人の再教育・キャリアアップ
- (2) 学問研究と社会・産業活動の交流・コラボレーションによる産業活性化
- (3) 多様な人材の集積や異質な才能の出会い(大学人、経済人、文化人、行政人、市民等)
- (4) 都市の情報受発信機能の強化
- (5) 市民の活力増強と都市の活性化

**3. 構想具体化のための課題**

(1) **都心への大学の立地促進**

- (1) 工場等制限法、大学設置基準等の緩和
- (2) 都市計画による立地促進
- (3) 遊休地・遊休施設の活用

(2) **企業や社会人の多様なニーズを満たす教育サービスの充実**

- (1) 企業や社会人が求める多様な教育メニューの提供
- (2) 産学連携による実践的カリキュラムの構築
- (3) 社会人教育に相応しい新たな教育形式の検討

(3) **高度専門職能の評価・処遇制度の整備**

- 企業における社員の就学支援、高度専門職能の評価・処遇制度整備、職種別採用方式の導入・拡大

(4) **関連する知のインフラの充実**

(5) **周辺都市等との知の連携**

**4. 実現に向けてのアクション**

**- 「大阪インテリジェントアレー推進懇談会(仮称)」の設置 -**

(1) **趣 旨**

- 大阪をモデルエリアとして、大学、経済界、自治体を構成メンバーとした懇談会を設置。情報・意見交換、交流促進を行い、都心への大学・大学院立地促進のための方策、企業や社会人のニーズに対応した教育サービスのあり方、推進に向けての気運の醸成等について検討し、実行を図る

(2) **懇談会の概要**

- 主な検討テーマ：都心への大学・大学院立地促進方策、企業や社会人のニーズに対応した教育サービスのあり方、インテリジェントアレー実現に向けた気運の醸成 他
- 具体的進め方：懇談会におけるディスカッション、必要に応じた専門部会設置
- 設置時期：2001 年秋頃
- 事務局：関西経済連合会

(3) **各界への要望活動**

- 懇談会における検討等を踏まえ、インテリジェントアレー推進のための具体策、大学の都心立地促進策について、適宜、国、関係自治体、大学、経済界等に対し要望活動を展開する